

令和2年7月22日

令和2年度水稻生育定期調査結果 No.5-2 (7月15日現在)

岩手県農業研究センター生産基盤研究部 生産システム研究室・県北農業研究所 作物研究室
(生産基盤研究部)TEL:0197-68-4413、FAX:0197-71-1081(県北研究所)TEL:0195-47-1074、FAX0195-49-3011

※7月15日現在の稲体栄養・土壌窒素の調査結果報告

(生育調査結果等については、水稻生育定期調査結果 No.5 で報告済み)

地上部乾物重、稲体窒素、土壌窒素 (7月15日現在)

(1) 農業研究センター (北上)

地上部乾物重は平年並みで、稲体窒素濃度は平年を上回り、稲体窒素吸収量は平年より多くなっている。土壌中アンモニア態窒素濃度は、平年並みからやや高くなっている。

(2) 県北農業研究所 (軽米)

地上部乾物重は平年より軽く、稲体窒素濃度は平年並み、稲体窒素吸収量は平年より少なくなっている。土壌中アンモニア態窒素濃度は、平年より低くなっている。

表1 地上部乾物重、稲体窒素吸収量、土壌窒素量 (7月15日)

調査項目	単位	年次	農業研究センター (北上)			県北農業研究所 (軽米)
			ひとめぼれ	あきたこまち	銀河のしずく	いわてっこ
地上部 乾物重	(g/m ²)	本年	512	486	451	343
		平年	500	461	483	439
		平年比	102%	105%	93%	78%
稲体窒素 濃度	(%)	本年	2.0	2.2	2.4	1.8
		平年	1.4	1.5	1.4	1.7
		平年差	0.6	0.7	1.0	0.1
稲体窒素 吸収量	(g/m ²)	本年	10.2	10.6	10.6	6.1
		平年	6.9	6.7	7.0	7.3
		平年比	148%	158%	151%	84%
土壌中 アンモニア態 窒素	(mg/100g 乾土)	本年	1.1	0.8	0.8	1.2
		平年	0.6	0.7	0.7	1.5
		平年比	0.5	0.1	0.1	-0.3

※「平年」は、農業研究センターは平成27～令和元年、県北農業研究所は平成25～27、30～令和元年の平均

※「いわてっこ」は、平成29年までは県北農業研究所、平成30年から県北農業研究所隣接の現地水田で供試

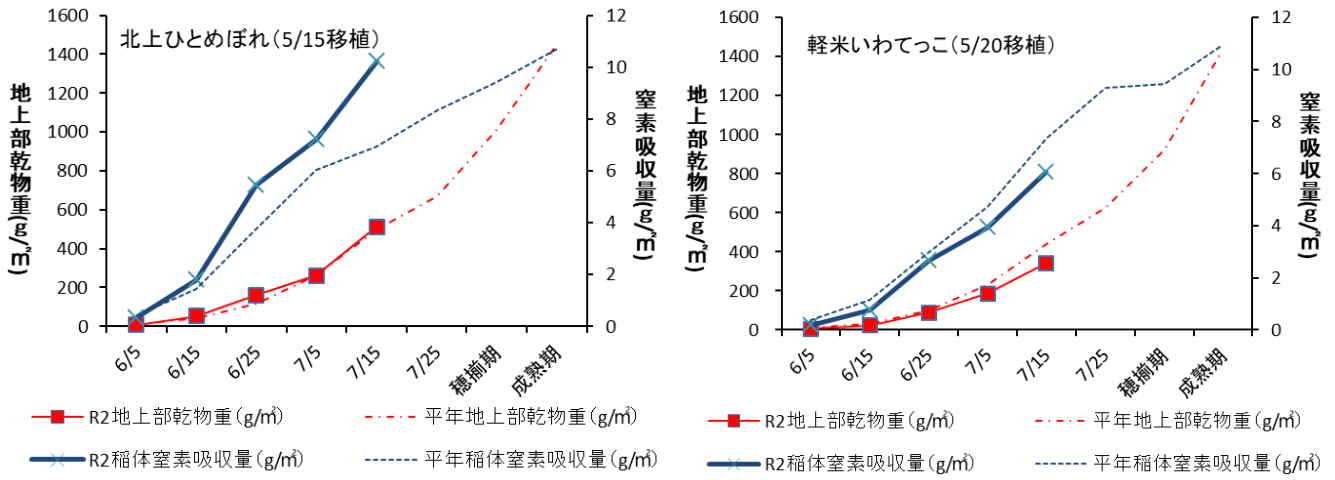


図1 地上部乾物重と稲体窒素吸収量の推移
(左側から、北上「ひとめぼれ」、軽米「いわてっこ」)

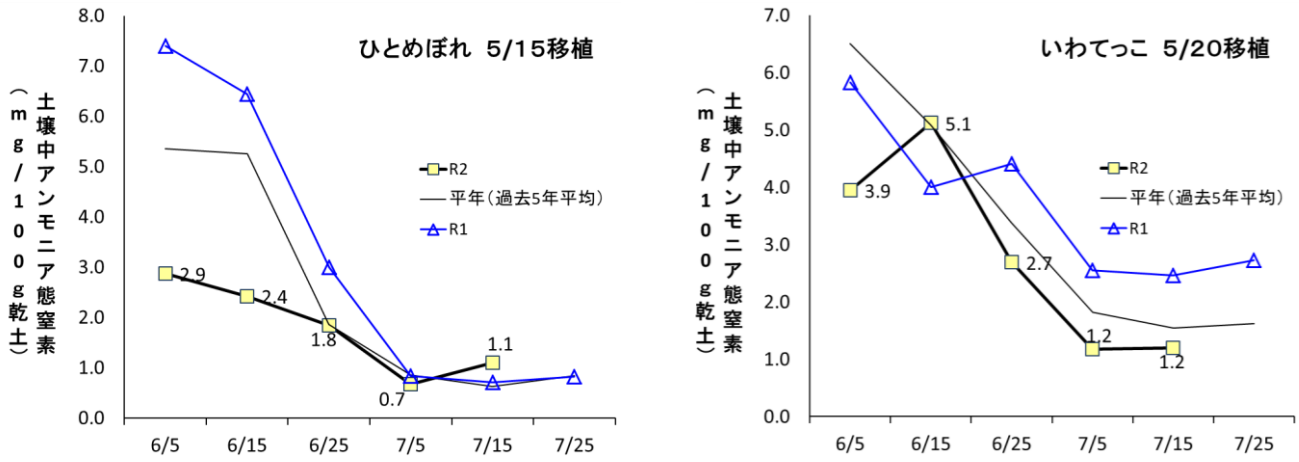


図2 土壌中窒素量の推移
(左側から、北上「ひとめぼれ」、軽米「いわてっこ」)